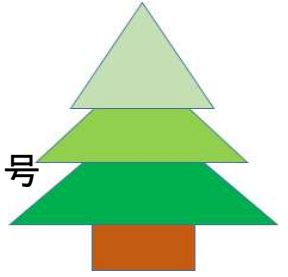




# 嵯峨宮頼り

第 31 号



嵯峨宮：群馬県みどり市大間々町小平 348 番地

<http://www17.plala.or.jp/sagagu/>

発行日：2023 年 9 月 10 日

発行：嵯峨宮世話人会

## 嵯峨宮 秋季大祭のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で三年間自粛してきました秋季大祭ですが、今年には開催する予定です。十月十四日(土)・十五日(日)の週末です。是非お参り下さい。十四日午前中は準備や宮司による神事がありますので午後からお出掛け下さい。社殿を開放しますので本殿の彫刻なども見ることが出来ます。

尚脇社の赤石稲荷に付きましては昨年の樹木伐採の際覆い屋を破損しましたので、再建するまで稲荷本殿は嵯峨宮覆い屋内に退避させてあります。

埋蔵祈願の「語り」の看板も同様です。


「嵯峨宮頼り」は嵯峨宮を通じての情報を地域の皆様に提供しています。バックナンバーは首記URLのホームページから見られます。社境内の掲示板でも見られます。御相談は世話人会迄連絡下さい。

## 土砂災害危険個所の看板

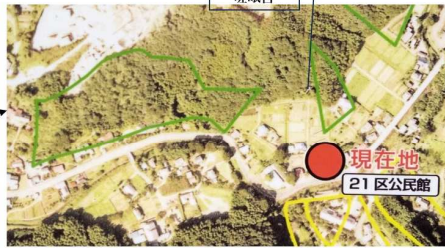
嵯峨宮前の階段脇にある看板絵図(左図上)は谷ツ田地区の内容であり、かつ現在地の記入ミスであることは既に嵯峨宮頼り27号に記した。実は同類の看板がすぐ近くの公民館入口脇にも平成二十年(左図中)と二十五年(左図下)に立てられている。道路から一段上がった公民館の縁(へり)に立ち、高く、道路

側からしか見え、しっかりと見るには骨が折れる。区域名称が土砂災害危険個所(がけ崩れ危険個所)と土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)で若干異なるが住民にとっては同じ警戒内容と理解されるだろう。嵯峨宮周辺を見ると中の図では嵯峨宮を含む西側は区域外となつているが、下の図では区域内である。警戒区域に入るか入らないかで資産価値にも対処方法にも大きく影響する。


小平嵯峨宮前の看板表示  
(昭和56年11月設置)  
根谷戸地区急傾斜地崩壊危険区域



小平公民館前の看板表示  
(平成20年3月設置)  
土砂災害危険個所(がけ崩れ危険個所)



(平成25年11月設置)  
土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)  
土砂災害特別警戒区域  
土砂災害警戒区域



令和五年 埋蔵祈願式  
十二月十七日(日)十一時



何だ、コレ？

嵯峨宮周辺の樹木を伐採して造った作業道の脇に突如15cm大の



白い球体が発生した。ハンペンの様な感触だが匂いは特にない。不気味である。調べてみるとオニフスベという名のキノコで、藪玉(やぶだま)とかホコリダケとも呼ばれているとか。食べられないこともないが決して旨いものではなく、成熟するとアンモニア臭がするという。漢方薬にも利用される。日本特産とあるが似たものは世界にもあるようだ。身近にはまだまだ初めてのモノがある。

小平竹林管理事業  
大間々林業研究会

平成三十年(2018)六月  
大間々林業研究会(以下林研  
という)とみどり市はぐんま  
緑の県民基金市町村提案  
型事業のうちの荒廃した

里山・平地林の整備の実施  
に関する事業の協定書を  
締結した。平地林には竹林  
が含まれ、初年度は市が竹  
林を伐採し、二年度以降十  
年度迄は林研が管理する、  
但し補助金は最長五年間  
でそれ以降は自主的に管  
理する(補助金なし)とい  
うものである。地主が会長  
ということもあつて気楽  
に構えていたが、会長交代  
となつて不安が噴出した。  
最大の心配は会員十二  
名の平均年齢がすでに七  
十四才を超えており、十年  
後に全員生きていたとし  
ても  
八十  
四才



を超えることになり、日本  
の男性の平均寿命は八十  
才だから責任を果たせる  
か心配である。若い会員が  
増えることを望むが、地域  
で林業を行おうとする若  
者は皆無に近い。

第二の心配は五年間の  
補助金が終了した後十年  
度迄の四年間である。補助  
金をストックしておくこ  
とはダメだという。始めの  
五年間で竹林を根絶やし  
に出来なかつたら自腹を  
切れというものだ。竹を絶  
やすには時期を選んで伐  
ると効果的だと言われる。  
しかし伐採範囲が竹林の  
一部にとどまり周囲に竹  
林が残る時、やがて周囲の  
竹から根が延びて来るの  
で根絶は難しい。竹は人が  
決めた土地の境界など気  
にしないのだ。勿論山を太  
陽光発電等に転用し費用  
を捻出すること等は期間  
中は認められていない。  
契約解約を相談するも、  
それは契約不履行になる

から伐採費用含め返却し  
てもらおうと言われてこの  
選択枝は消えた。

全員参加の緊急会議を  
開く。冒頭、慎重な検討に  
欠けた点があつたが他の  
団体でもやっていること  
なのでそれを参考に皆で  
しっかりと対応しようとな  
つた。特にこの竹林は傾斜  
地が多い、竹は伐り方によ  
つて危険性を増す、高齢者  
が多い、等により「安全第  
一」を目標とした。教育的  
には刈払機講習受講、作業  
前安全ビデオ視聴、安全教  
本輪読を  
実施した。  
作業監視  
員配置、安  
全装備品(ヘルメット、フ  
エイスカバー、防振手袋、  
農業用マスク、ゴム手袋、  
笛等)の装着、蜂対策、熱  
中症対策を行い、更にイベ  
ント保険を掛け徹底した。

初年度の刈払い対象は  
伐採した竹の地下茎から  
出た大量の笹葉だった。鹿



本輪読を  
実施した。  
作業監視  
員配置、安  
全装備品(ヘルメット、フ  
エイスカバー、防振手袋、  
農業用マスク、ゴム手袋、  
笛等)の装着、蜂対策、熱  
中症対策を行い、更にイベ  
ント保険を掛け徹底した。

が食べてくれると言う期  
待は見事に外れた。又太い  
竹に除草剤を注入する方  
法は根の系統が分らず、ど  
こ迄どれが効いているの  
か扱い難く不安だった。

その年の冬群馬県林業  
試験場から「除草剤を用いて  
竹林の拡大を防ぐ方法」とい  
う発表があつた。塩素酸塩  
粒剤(クローレト  
S等)を散布す  
る方法である。劇薬指定の  
ため取扱いには注意が必  
要だが、粒剤のため扱い易  
く撒き易い。急傾斜地では  
上から撒くだけでよく、足  
腰の弱った高齢者でも容  
易だ。撒きムラができても  
翌年追加散布すればよい。  
篠(しの)などにも試した処  
同様の効果があると感じ  
た。ただ値段が多少高い。



今年九月九日、五年度目  
の小平竹林管理事業を実  
施して助成金による作業  
は安全に完了した。会員十  
二名の内、「そんな事、俺

がやって  
やるから  
心配する  
な。」と言  
つていたA氏は二年目の  
春に病死した。現在入院中  
の者二名、足腰悪く欠席し  
た者二名、今回は七名で実  
施した。平均年齢七十八才  
である。最高齢者は今年八  
十九才になるK氏、極めて  
健康であり、今回も草刈り  
用大鎌を持って参加して  
頂いた。秘訣を聞くと卓球  
や短歌を趣味とし、毎日々  
ケットで素振りを一万回  
やるという。二年前迄は五  
万回やつたとの事。気持ち  
の持ち様と努力でまだま  
だ頑張れるというお手本  
である。あと四年、されど



四年、皆  
元気で  
在るこ  
とを祈  
るばか  
りであ  
る。  
(阿直)

